

様式 1

愛玩動物看護師養成所指定申請書
(法第31条第2号関係)

1 名称							4 連絡者			
2 位置							氏名			
3 設置者 ※法人にあつては名称及び主たる事務所の所在地	氏名					役職名				
	住所					TEL				
						FAX				
						E-mail				
	養成所長氏名									
5 設置年月日	設置年月日：令和 年 月 日 授業開始：令和 年 月									
6 種類等	愛玩動物看護師養成所			法第31条第2号3年課程			1学年定員 名			
7 教員 ※1 専任教員、兼任教員とも明示すること ※2 適宜行を追加すること	免許の種類等	氏名	年齢	担当予定科目	免許番号等	免許取得年月等	本人の承諾書	所属長の承諾書	専任兼任の別	
							有・無	有・無		
							有・無	有・無		
							有・無	有・無		
8 建物	土地面積	m ²			建物面積	m ²				
	室の名称	面積 (m ²)	室の名称	面積 (m ²)	室の名称	面積 (m ²)				
9 臨床実習施設	実習施設の名称	位置			1回受入人数	1回受入時間数	年間受入回数	年間受入時間数		
10 整備に関する経費	区分	整備方法				金額				
	土地	設置者所有・寄附・買収・その他				千円				
	建物	設置者所有・新築・買収・その他				千円				
	設備					千円				
	合計					千円				

(記入上の注意)

- 「7 教員」のうち、免許の種類等については、獣医師である場合には「獣医師」と、愛玩動物看護師である場合には「愛玩動物看護師」と記入し、同等以上の学識経験を有する者については記入しないこと。
- 「9 臨床実習施設」については、開設者の承諾を得たもののみ記入すること。ただし、指定申請の際に承諾書の取得が困難な場合は、実習を予定している施設名を記入し、遅くとも実習を開始する3か月前までに同意書を提出すること。
- 「10 整備に関する事項」については、指定申請に当たって新たに土地、建物又は設備を取得する場合のみ記入すること。

添付書類

- 1 設置者に関する書類
 - (1) 設置者が法人である場合
 - ア 法人の寄附行為又は定款
 - イ 役員名簿
 - ウ 法人認可官庁に提出した前年度の事業概要報告書、収支決算書及び財産目録の写し
 - (2) 設置者が法人の設立を予定している場合
認可官庁に提出した申請書
- 2 建物に関する書類
建物の配置図及び平面図
- 3 整備に関する書類
 - (1) 土地 設置者所有の場合登記書抄本、寄附を受ける場合登記書抄本及び寄附申込書、買収又は賃借の場合見積書
 - (2) 建物 設置者所有の場合登記書抄本、新築、買収又は賃借の場合見積書
- 4 申請の日の属する学年度の収支予算並びに当該学年度及び翌年度の財政計画に関する書類
(国及び地方公共団体の設置する養成所にあつては不要)
- 5 教育に関する書類
学則

(参考様式1)

養成所の長に関する調書

		養成所名						
氏名			現住所			性別	男・女	
生年月日	年 月 日 (歳)		職種					
免許登録番号	第 号		免許登録年月日	年 月 日				
所属施設名			所在地					
卒業学校・養成所名	年 月 卒		専攻					
	年 月 卒		専攻					
職歴	年	月			年	月		
教育歴								
研究発表又は論文								

(記入上の注意)

- 1 「職種」については、獣医師である場合には「獣医師」、愛玩動物看護師である場合には「愛玩動物看護師」、同等以上の学識経験を有する者については記入しないこと。
- 2 研究発表又は論文は、主なものを記入し、1枚にまとめること。

(添付書類)

免許証の写しを添付すること。

(参考様式2)

教員（専任・兼任）に関する調書

		養成所名					
氏名			現住所			性別	男・女
生年月日	年 月 日 (歳)		職種				
免許登録番号	第 号		免許登録年月日		年 月 日		
所属施設名			所在地				
卒業学校・養成所名	年 月 卒		専攻				
	年 月 卒		専攻				
職歴	年	月			年	月	
教育歴							
研究発表又は論文							
担当科目							
本人承諾書	有 ・ 無		所属長承諾書		有 ・ 無		

(記入上の注意)

- 1 専任・兼任のいずれかに○を付けること。
- 2 「職種」については、獣医師である場合には「獣医師」、愛玩動物看護師である場合には「愛玩動物看護師」、同等以上の学識経験を有する者については記入しないこと。
- 3 研究発表又は論文は、主なものを記入し、1枚にまとめること。

(添付書類)

免許証の写しを添付すること。

(参考様式3)

承諾書

※養成所名
私は、
が、愛玩動物看護師法に基づく愛玩動物看護師養成所として指定された場合は、当該施設において専任教員に就任することを承諾します。

1 就任予定年月日 令和 年 月 日

2 資 格 免 許 の 種 類

免許登録年月日 年 月 日

免許登録番号 第 号

令和 年 月 日

住 所

氏 名

(〇〇 (都道府県名) 知事) 殿

(作成上の注意)

「2 資格」のうち、免許の種類については獣医師である場合には「獣医師」と、愛玩動物看護師である場合には「愛玩動物看護師」と記入し、同等以上の学識経験を有する者については記入しないこと。

承諾書

貴養成所が、愛玩動物看護師法に基づく養成所として指定された場合は、下記の者が令和 年 月 日付で貴所の専任教員となることを承諾します。

職 名

氏 名

令和 年 月 日

所在地

施設名

施設長

(養成所長) 殿

(作成上の注意)

- 1 原本の写しを提出すること。
- 2 養成所指定申請の際、現に当該養成所の専任教員である場合又は無職若しくは自営の場合は、本人が承諾すれば足り、施設長の承諾書は提出する必要はないこと。

承諾書

※養成所名
私は、
が、愛玩動物看護師法に基づく愛玩動物看護師養成所として指定された場合は、当該施設において兼任教員に就任することを承諾します。

1 就任予定年月日 令和 年 月 日

2 資格 免許の種類

免許登録年月日 年 月 日

免許登録番号 第 号

令和 年 月 日

住所

氏名

(〇〇(都道府県名)知事) 殿

(作成上の注意)

「2 資格」のうち、免許の種類については獣医師である場合には「獣医師」と、愛玩動物看護師である場合には「愛玩動物看護師」と記入し、同等以上の学識経験を有する者については記入しないこと。

承諾書

貴養成所が、愛玩動物看護師法に基づく養成所として指定された場合は、下記の者が令和 年 月 日付で貴所の兼任教員となることを承諾します。

職 名

氏 名

令和 年 月 日

所在地

施設名

施設長

(養成所長) 殿

(作成上の注意)

- 1 原本の写しを提出すること。
- 2 養成所指定申請の際、現に当該養成所の兼任教員である場合又は無職若しくは自営の場合は、本人が承諾すれば足り、施設長の承諾書は提出する必要はないこと。

(参考様式5)

授業科目の概要

養成所指定規則 に定める科目名	養成所指定規則 に定める時間数	養成所名		概要 (注)
		学則に定める 授業科目 (注)	学則に定める 時間数 (単位数)	
生命倫理・動物福祉	30時間			
動物形態機能学	120時間			
動物繁殖学	30時間			
動物行動学	30時間			
動物栄養学	60時間			
比較動物学	60時間			
動物看護関連法規	15時間			
動物愛護・適正飼養 関連法規	15時間			
動物看護学概論	30時間			
動物病理学	30時間			
動物薬理学	60時間			
動物感染症学	90時間			
公衆衛生学	60時間			
動物内科看護学	90時間			
動物外科看護学	60時間			
動物臨床看護学総論	30時間			
動物臨床看護学各論	120時間			
動物臨床検査学	30時間			
動物医療 コミュニケーション	30時間			
愛玩動物学	60時間			
人と動物の関係学	30時間			
適正飼養指導論	60時間			
動物生活環境学	30時間			
ペット関連産業概論	30時間			
動物形態機能学実習	30時間			
動物内科看護学実習	120時間			
動物外科看護学実習	90時間			
動物臨床看護学実習	60時間			
動物臨床検査学実習	60時間			
動物愛護・適正 飼養実習	60時間			
動物看護総合実習	180時間			

(注) 学則に定める授業科目の名称が、指定規則別表に定める科目の名称と同一である場合には、科目の概要の記載を省略して差し支えない。また、学則に定める科目の名称が、次のいずれかに該当する場合については、指定規則別表に定める科目の名称に該当するものとして取り扱って差し支えない。

- ア 科目名の末尾に、「原論」、「(の) 原理」、「総論」、「概論」、「概説」、「論」、「法」、「(の) 方法」及び「学」のうち、いずれかの語句又は複数の語句が加わる場合
- イ 科目名の末尾に、「Ⅰ」、「Ⅱ」、「A」、「B」等が加わることにより、複数の科目に分割されているが、対応する科目と同等の授業内容である場合
- ウ 履修すべき科目名が、授業科目名の中に含まれている場合

(参考様式7)

教授用又は実習用機械器具、標本及び模型の目録

品 目 (例)	数 量
聴診器 体温計 注射用具 手術器具 顕微鏡 高圧滅菌器 骨格標本 (犬) 模型 (犬)	

<記入要領>

品目については、養成所における講義又は実習で用いる機械器具、標本及び模型について記入すること。

(参考様式8)

図書の目録総括表

種 別	数 量
図 書 (愛玩動物看護師の養成に関するもの)	冊
辞 典 類	冊
学 術 雑 誌	種類
そ の 他	冊
合 計	冊 種類

<記入要領>

各種別の冊数（雑誌にあつては種類）を記入すること。